

テレビ美術の伝統と質を守り、環境負荷削減を実現する撮影用メイク用品 プラスチックフリー「NART PFファンデーション」の開発

NHKの番組美術をリアルからデジタルまでワンストップで担う総合美術会社、㈱NHKアート(東京都渋谷区、平田恭佐社長)では、2021年12月に社内で「美術制作の環境負荷削減対応プロジェクト」を立ち上げ、SDGsに配慮したテレビ美術の研究・開発に取り組んでいます。

これまで開発を進めてきた美術セットやパターン(フリップ)をはじめとする美術用品に加え、この度、NHKデザインセンターと協業し、マイクロプラスチックを含有しない撮影用オリジナルファンデーションを開発しました。「NART PFファンデーション」(PF=プラスチックフリー)は、今月開幕したパリオリンピック放送のメイク業務にも使用されています。

NHKアートでは長年にわたり、時代劇を含む多くのドラマや報道情報番組などの出演者のメイク業務を行ってきました。

カメラを通した見え方を優先するテレビ番組用のメイク用品は、一般的な用途のものとは質感や発色、仕上がりが異なります。特にファンデーションは、これまでも技術革新で鮮明になる画面に対応できるように、撮影用のオリジナル製品を開発、使用してきました。

一般的に使用される多くの化粧品には、メイクの感触やしあがりや滑らかにする役割を果たすマイクロプラスチックを含有されていますが、近年、海洋分解されないマイクロプラスチックを使用・排出することによる環境汚染問題が問題視され、EU圏内を中心に製造・販売の規制が検討されています。

そこでNHKアートでは、環境負荷削減の一環として、撮影用ファンデーションのプラスチックフリー化に取り組みました。この撮影用オリジナルファンデーションは、パリオリンピックの放送用のメイク業務でも使用されています。

NHKアートは、これからも多様化する社会や時代の変化に向き合い、持続可能で新たな価値を創造し続ける体制を構築し、総合美術会社として映像美術の追求を続けると同時に、環境問題に対応する取り組みを積極的に進めてまいります。



キャスターやドラマ出演者のメイクのベースとなる
撮影用ファンデーション(男性用基本色4色)

本レターに関するお問い合わせ先
㈱NHKアート 広報担当
TEL: 03-3481-2882
FAX:03-3481-2905
E-mail: info@nhk-art.co.jp

取材に関するお問い合わせ先
本コンテンツにご興味をお持ちいただきましたら、左記までお問合せください。
担当者に取り次ぎます。



撮影用オリジナルファンデーション「NART PFファンデーション」の開発

撮影用ファンデーションとは

撮影用ファンデーションは、1999年、ハイビジョン化を機に、NHK放送技術研究所、映像デザイン部、化粧品メーカーとNHKアートが共同開発し、導入されました。

長時間の強い照明下での撮影に対応するため、頻繁にリタッチ（メイク直し）がしやすいことや、一部だけリタッチをしてもなじみやすいこと、また、オイルやグリセリンを使って「汗」を作り出すような、一般にはない“テレビならでは”の表現への対応など、細かな使い勝手への配慮も重要です。



水溶性・生分解性のプラスチックを使用した低環境負荷のファンデーションの試作も行いましたが、満足に行く使用感、質感を実現することができず、「マイクロプラスチックを使用しないファンデーション」の開発にシフトし、2年強の開発期間をかけ、ファンデーションのカバー力、重さ、ツヤ感、透明感、保湿力などのバランスを調整しました。

ただ環境負荷を削減するだけでなく、「環境対応した置き換え品であると同時に、メイク業務を担当するメンバーがメリットを感じられるものとして新たな製品を開発したい」と考え、現行品の色味をさらに理想的なものにすることにこだわり、試作を重ね、「NART PFファンデーション」が完成しました。

NHKアートの取り組み

NHKアートでは、2021年12月に社内で「美術制作の環境負荷削減対応プロジェクト」を立ち上げ、美術制作におけるサステナブル素材の開発研究や、NHKデザインセンターと協働した美術セットの「3R」化、廃棄状況の改善などを行っています。

2022年度にリニューアルした『あさイチ』や、『1.5°Cの約束 いますぐ動こう、気温上昇を止めるために』、『日曜討論』など複数の番組セットにサステナブル素材を使用したほか、パリオリンピックの現地スタジオセットにもマテリアルリサイクル可能なりサイクル循環型素材を活用しています。イベント部門でも「技研公開2024」、国立科学博物館特別展「海」（2023年）などの催事で、環境負荷の少ない素材を使用した展示什器の製作や会場装飾を行いました。

他にも、美術制作の過程で出る素材の端材や廃材を使用して自由に作品を作る、「アップサイクル」をテーマにしたワークショップの開催、国産材活用の検討など、さまざまなフィールドでSDGsの取り組みを行っています。

本レターに関するお問い合わせ先

（株）NHKアート 広報担当

TEL: 03-3481-2882 FAX: 03-3481-2905 E-mail: info@nhk-art.co.jp



会社概要

〈社名〉 株式会社NHKアート（英文社名）NHK ART, Inc.

〈代表者〉 代表取締役社長 平田恭佐

〈本社所在地〉 〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷一丁目14-7 アートビル

〈電話〉 03-3481-2881(代)

〈URL〉 www.nhk-art.co.jp

〈設立〉 1961年7月10日

〈資本金〉 2億円

〈売上高〉 164億円(2023年3月期)

〈従業員数〉 263名(2024年3月31日現在)

〈事業内容〉

NHK放送番組の美術制作・デザイン(デザイン・美術進行・道具類の調達他)
グラフィックス・バーチャルセットの企画制作
3次元CG映像・VFX・バーチャル映像等の制作
Webデザイン
デジタル映像演出手法の開発およびシステム開発
展示・催事の企画・制作、設計施工、および運営
文化施設・博覧会等の建築設計、設計監理(一級建築士事務所・特定建設業)
ホールの舞台機構・音響・照明操作運用および映像収録・配信

〈事業資格〉

一級建築士事務所[東京都知事登録第40305号]
特定建設業許可[東京都知事許可(特3)第5326号]

〈近年の受賞歴〉

2023年度

- ・2024 New York Festivals TV&Film Awards Grand Award, Gold Award
- ・第65回 科学技術映像祭 内閣総理大臣賞
NHKスペシャル『映像記録 関東大震災～帝都壊滅の三日間～』
- ・2023 New York Festivals TV&Film Awards, Silver Award
NHKスペシャル『北の海よみがえる絶景』
- ・2023 New York Festivals TV&Film Awards Gold Award
ETV特集『“原発事故”最悪のシナリオ～その時誰が命を懸けるのか』

2022年度

- ・第70回 菊池寛賞
『映像の世紀 パタフライエフェクト』(アートディレクション・CG)
- ・第75回(2021年度)映像技術賞(VFX)
NHK よるドラ『きれいのくに』(CG・VFX制作、美術制作・美術進行)

本レターに関するお問い合わせ先

株NHKアート 広報担当

TEL: 03-3481-2882 FAX: 03-3481-2905 E-mail: info@nhk-art.co.jp